

湘南医療大学

ティーチング・ポートフォリオ

大学名 湘南医療大学

所 属 専攻科 公衆衛生看護学専攻

名 前 山崎 真帆

作成日 2023年9月28日

1. 教育の責任

1) 担当した科目

年度	科目名・担当や責務	選択・必修	学年
2017年度	公衆衛生看護方法論Ⅰ(分担)	選択	3年
	公衆衛生看護方法論Ⅱ(科目責任)	選択	3年
2018年度	公衆衛生看護方法論Ⅰ(分担)	選択	3年
	公衆衛生看護方法論Ⅱ(科目責任)	選択	3年
	公衆衛生看護学実習Ⅰ(分担)	選択	4年
	公衆衛生看護学実習Ⅱ(分担)	選択	4年
	地域看護学Ⅱ(分担)	選択	2年
	統合実習(分担)	必修	4年
	看護研究(分担)	必修	4年
	チーム医療論(分担)	必修	4年
2019年度	公衆衛生看護活動論(科目責任)	選択	3年
	公衆衛生看護方法論Ⅰ(科目責任)	選択	3年
	公衆衛生看護方法論Ⅱ(科目責任)	選択	3年
	公衆衛生看護学実習Ⅰ(分担)	選択	4年
	公衆衛生看護学実習Ⅱ(分担)	選択	4年
	地域看護学Ⅰ(分担)	必修	2年
	地域看護学Ⅱ(分担)	選択	2年
	統合実習(分担)	必修	4年
	看護研究(分担)	必修	4年
	チーム医療論(分担)	必修	4年
2020年度	公衆衛生看護活動論(科目責任)	選択	3年
	公衆衛生看護方法論Ⅰ(科目責任)	選択	3年
	公衆衛生看護方法論Ⅱ(科目責任)	選択	3年
	公衆衛生看護学実習Ⅰ(分担)	選択	4年
	公衆衛生看護学実習Ⅱ(分担)	選択	4年
	地域看護学Ⅰ(分担)	必修	2年
	地域看護学Ⅱ(分担)	選択	2年
	統合実習(分担)	必修	4年
	看護研究(分担)	必修	4年
	チーム医療論(分担)	必修	4年
2021年度	公衆衛生看護活動論Ⅰ(科目責任)	選択	3年
	公衆衛生看護方法論Ⅰ(科目責任)	選択	3年
	公衆衛生看護方法論Ⅱ(科目責任)	選択	3年

	公衆衛生看護学実習Ⅰ(分担)	選択	4年
	公衆衛生看護学実習Ⅱ(分担)	選択	4年
	地域看護学Ⅰ(分担)	必修	2年
	地域看護学Ⅱ(分担)	選択	2年
	統合実習(分担)	必修	4年
	看護研究(分担)	必修	4年
	チーム医療論(分担)	必修	4年
2022年度	【看護学科】公衆衛生看護活動論Ⅰ(科目責任)	選択	3年
	【看護学科】公衆衛生看護学演習Ⅰ(科目責任)	選択	4年
	【看護学科】公衆衛生看護学演習Ⅱ(分担)	選択	4年
	【看護学科】公衆衛生看護学実習Ⅰ(分担)	選択	4年
	【看護学科】公衆衛生看護学実習Ⅱ(分担)	選択	4年
	【専攻科】公衆衛生看護活動論Ⅰ(科目責任)	必修	1年
	【専攻科】公衆衛生看護活動論Ⅱ(科目責任)	必修	1年
	【専攻科】地域アセスメント演習(科目責任)	必修	1年
	【専攻科】ヘルス・プロモーション演習(分担)	必修	1年
	【専攻科】公衆衛生看護学実習Ⅰ(分担)	必修	1年
	【専攻科】公衆衛生看護学実習Ⅱ(分担)	必修	1年
	【専攻科】公衆衛生看護学研究(分担)	必修	1年
	【専攻科】濱ゼミ(分担)	必修	1年
2023年度	【看護学科】公衆衛生看護活動論Ⅰ(科目責任)	選択	3年
	【看護学科】公衆衛生看護学演習Ⅱ(分担)	選択	4年
	【看護学科】公衆衛生看護学実習Ⅱ(分担)	選択	4年
	【専攻科】公衆衛生看護活動論Ⅰ(科目責任)	必修	1年
	【専攻科】公衆衛生看護活動論Ⅱ(科目責任)	必修	1年
	【専攻科】地域アセスメント演習(科目責任)	必修	1年
	【専攻科】ヘルス・プロモーション演習(分担)	必修	1年
	【専攻科】公衆衛生看護マネジメント演習(分担)	必修	1年
	【専攻科】公衆衛生看護学実習Ⅰ(分担)	必修	1年
	【専攻科】公衆衛生看護学実習Ⅱ(分担)	必修	1年
	【専攻科】公衆衛生看護学研究(分担)	必修	1年
	【専攻科】濱ゼミ(分担)	必修	1年

2) 教育活動

2017年度から保健医療学部看護学科講師、2022年度から専攻科公衆衛生看護学専攻講師。

看護学科内・専攻科内において、実習員会(2017～2019年度)、国家試験対策委員会(2017・2018・2021年度)、学生募集・広報委員(2017～2019年度)、学生支援委員会(2020・2021年度)、入学前教育(2018年度)、キャロリング担当(2017・2018年度)、統合実習ワーキング(2017～2019年度)、チーム医療ワーキング(2017・2018年度)、チューター(2017～2021年度)を担当した。高校への出前講座やオープンキャンパス、入試業務も協力してきた(2017～現在)。

2. 私の理念・目的

1) 私の理念

ふれあいの理念のもとに「やさしさと思いやりのある」教育を実践する。自身が理念の実践者となり、学生がそれらを修得できるよう教育にあたり、地域の保健・医療・福祉・教育の質の向上に貢献する。

学生が人としてそれぞれの目指す未来に進むための、支援をしていく。

2) 理念をもつに至った背景

教育は人の可能性を広げると考える。目まぐるしく変化していく時代に、自身の力で選択しながらニーズに対応して社会に貢献する人を育成したい。学生の個別性を考慮しながら、目をかけ手をかけ心を尽くして教育にあたっていく。

3. 教育の方法・戦略

- ・授業に集中できる環境を整える:メリハリのある授業。適度な緊張感。
- ・重要なところを学生自身が認識できるようにする
- ・教科書に紐付けし、重要な部分は教科書にマークをしてもらう。
- ・経験や事例、特徴的なエピソードを話し、記憶に残るようにする。
- ・課題の工夫:学生自身の生活に結びつける。

人を育てるのは人であると思う。それはとても時間を要し、目に見えにくい地道な対応であり、すぐには結果が表れないことも多いかもしれない。「50年先の未来を支える人材」を育てるために、今、種をまき、栄養を与え、良い根が育つようにサポートしている。物事に結論を急いで求めすぎず、長い目で見ながら、“待つ”ということも必要だと考える。

4. 学習成果

- ・授業については、知識・技術をスムーズに習得できるよう、領域内で調整した。
- ・学生の学修状況に応じて、学生とコミュニケーションを図りながら、授業の展開をした。
- ・「公衆衛生看護方法論Ⅱ」の平成 29 年度授業改善アンケート(履修者 12、回答数 12、回答率 100%)：「意欲的に受講したか」4.67、「内容を理解したか」4.83、「得るところがあったか」4.92、「教員の熱意」4.92、「教え方は分かりやすかったか」4.92、「教員とコミュニケーションはとれたか」4.92、「教員は勉学環境に配慮していたか」4.92、「総合的に判断して良い授業だったか」5.00。

5. 改善のための努力

- ・他の科目との連携
看護学科と専攻科の時間割や、公衆衛生看護学科目の指導内容の調整を図る。
- ・学生が国家試験に合格するためのサポート
学生とのコミュニケーションをよくとり、個別性を重視しながら、丁寧なサポートを行い、保健師国家試験 100%合格を継続する。

6. 今後の目標

- ・長期目標：学生が人としてそれぞれの目指す未来に進むための、サポートをする。
- ・短期目標：保健師国家試験 100%合格の継続(2024 年 3 月)。

【添付資料】

- ・科研費採択通知(21K10983)
- ・授業シラバス
- ・授業評価アンケート
- ・講義配付資料
- ・学生の就職先一覧
- ・看護研究、公衆衛生看護学研究タイトル一覧